

# 第3回 学校運営協議会

---

教育用語について

# 学習指導要領

小学校

学習指導要領(平成 29 年告示)

平成 29 年 3 月 告示

教科ごとの教育計画（ガイドライン）

子どもたちの教科書はこれを基に作られています。

# 学習指導要領

## 教育目標

学ぶべきスキル、知識、思考力、態度など

## 学習内容

学習の内容やその指導方法

## 評価方法

児童の評価方法やその基準

\*各校の評価基準はあゆみに記載しているところが多い

簡単に言えば、**学習指導要領は学校が何を、どのように教え、評価するかについてのガイドラインです。**

# 学習指導要領

私たち教職員は、  
これをもとに、指導内容や  
指導方法を組み立てます。

# 教育課程



令和5年度  
教育課程



自分を高め、ともに進む子



浜松市立和田小学校

令和5年度 浜松市立和田小学校 グランドデザイン

数学教育振興計画完全実施  
○資質・能力の3つの柱  
○カリキュラム・マネジメント  
○社会に開かれた教育課程  
令和の日本型学校教育の真髄

第3次浜松市教育振興計画  
(決断4年目)  
○市民参加による人づくり  
○未来創造への人づくり

次期中学校区の目指す子供像  
○夢や希望、志をもち、その実現を目指して努力する人  
○困難に直面してもくじけず諦めずやり続ける人  
○人々の幸せや地域の発展のために貢献する人

学校教育目標「自分を高め、ともに進む子」

目指す子供の姿  
学びあう子 認めあう子 きたえあう子  
特に培ってきたい資質・能力 ねばり強さ 向上心 自律心 調整力

和田の心算  
算いも算うこともします。人の子を算えたり算まれます。

和順っ子宣言(真摯)  
学校生活が輝くように自分や自分たちの理想もがめあう学校に共働き共学を以て教育実践。

学校経営目標「だれもが主人公、笑顔いっぱい夢いっぱい学校」  
子供を軸に一人一人が、学びの力を磨き、思いを育み、認め合い、支え合い、抱きしめ合いながら生き生きと活動することを通して自信を高め、夢や希望をひらくことができる学校

キャリア教育の推進(すべての教育活動を通して実践)  
【人とかかわる力】(人間関係形成・社会参加能力) 【自分を育む力】(自己理解・自己管理能力)  
【学びをふかめる力】(課題解決能力) 【未来につなげる力】(キャリアプランニング能力)

知 体 心

キャリア教育の推進(すべての教育活動を通して実践)  
【人とかかわる力】(人間関係形成・社会参加能力) 【自分を育む力】(自己理解・自己管理能力)  
【学びをふかめる力】(課題解決能力) 【未来につなげる力】(キャリアプランニング能力)

知 体 心

PDCAサイクルが回轉し、社会に開かれた教育課程  
県庁や地域に取組まれる学校づくりの真髄

学校教育の目標を達成するために、教育の内容を学校の特徴や児童の発達に応じて、編制した教育計画

# 教育課程



## 知 <学習に関すること>

- 授業改善の推進
- 発達支援教育の充実

## 徳 <生活に関すること>

- 心の教育の推進
- 生徒指導の充実

## 体 <運動に関すること>

- 体力の向上
- 安全教育の推進
- 健康教育・食育の推進

# 教育課程



教職員や児童、保護者、地域の方からの意見をもとに  
1月から3月にかけて作成

# 教科と領域



## 教科とは

国語、算数、理科、社会、生活、音楽、図工、体育、家庭科、外国語（高学年）

- \* 中学・高校では、専門の免許状がある。
- \* いつ、何を学ぶかが決まっている。
- \* 数値や◎○△など数的な評価が多い。
- \* 教科書がある



# 教科と領域



## 領域とは

教科以外の教育的活動

例：総合的な学習の時間、特別活動、  
外国語活動(3,4年)

- \* 専門の免許状が不要。
- \* 経験や体験活動を重視
- \* 文章表記が多い
- \* 教科書がない

# 総合的な学習の時間 ! !

- ◆小学校では、2002年から実施
- ◆自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成
- ◆体験学習や問題解決学習の重視、  
学校・家庭・地域の連携
- ◆例として、国際理解、情報、環境、福祉、地域など
- ◆各学校で独自の名前をつけて呼んでいる。

和田小は「**めいけん学習**」

# 総合的な学習の時間



## 3年生 地域 〈和田の町 すてき発見!〉

- ・ 東海道、自動車街などの道の様子
- ・ 地域のお店や寺社
- ・ 天竜川と金原明善

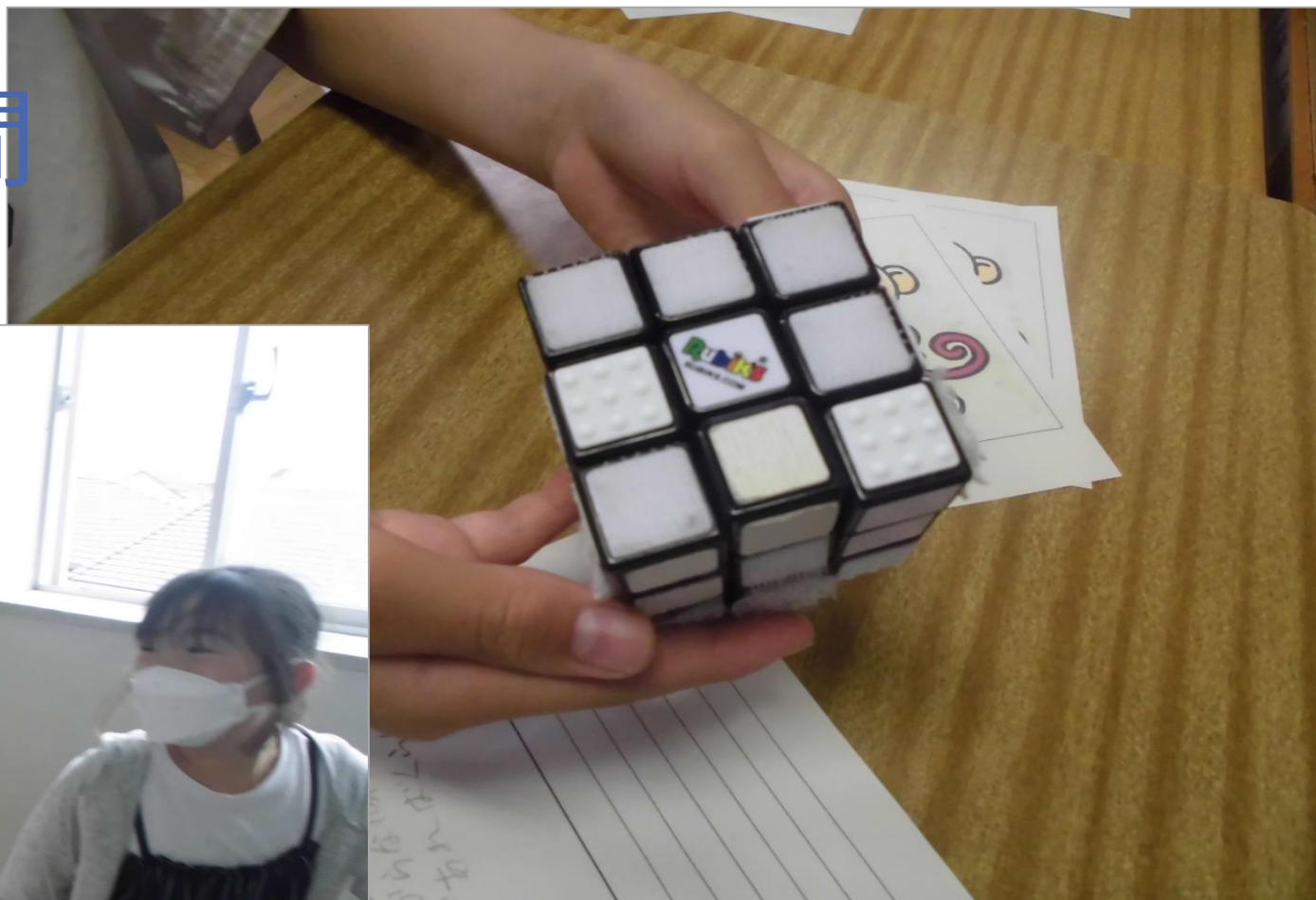
# 総合的な学習の時間



## 3年生 地域 〈和田の町 すてき発見!〉

- ・ 東海道、自動車街などの道の様子
- ・ 地域のお店や寺社
- ・ 天竜川と金原明善

# 総合的な学習の時間



4年生 福祉 <ともに生きる>

- ・ユニバーサルデザイン
- ・アイマスク、パラスポーツ体験

# 総合的な学習の時間



4年生 福祉 <ともに生きる>

- ・ユニバーサルデザイン
- ・アイマスク、パラスポーツ体験

# 総合的な学習の時間



5年生 環境 <未来を見つめて>

- ・SDGs、環境問題
- ・探究的活動

# 総合的な学習の時間



6年 ものづくりのまち浜松と国際理解  
〈日本発、世界へ！〉

- ・ 浜松のよさと首都東京
- ・ 自己の生き方

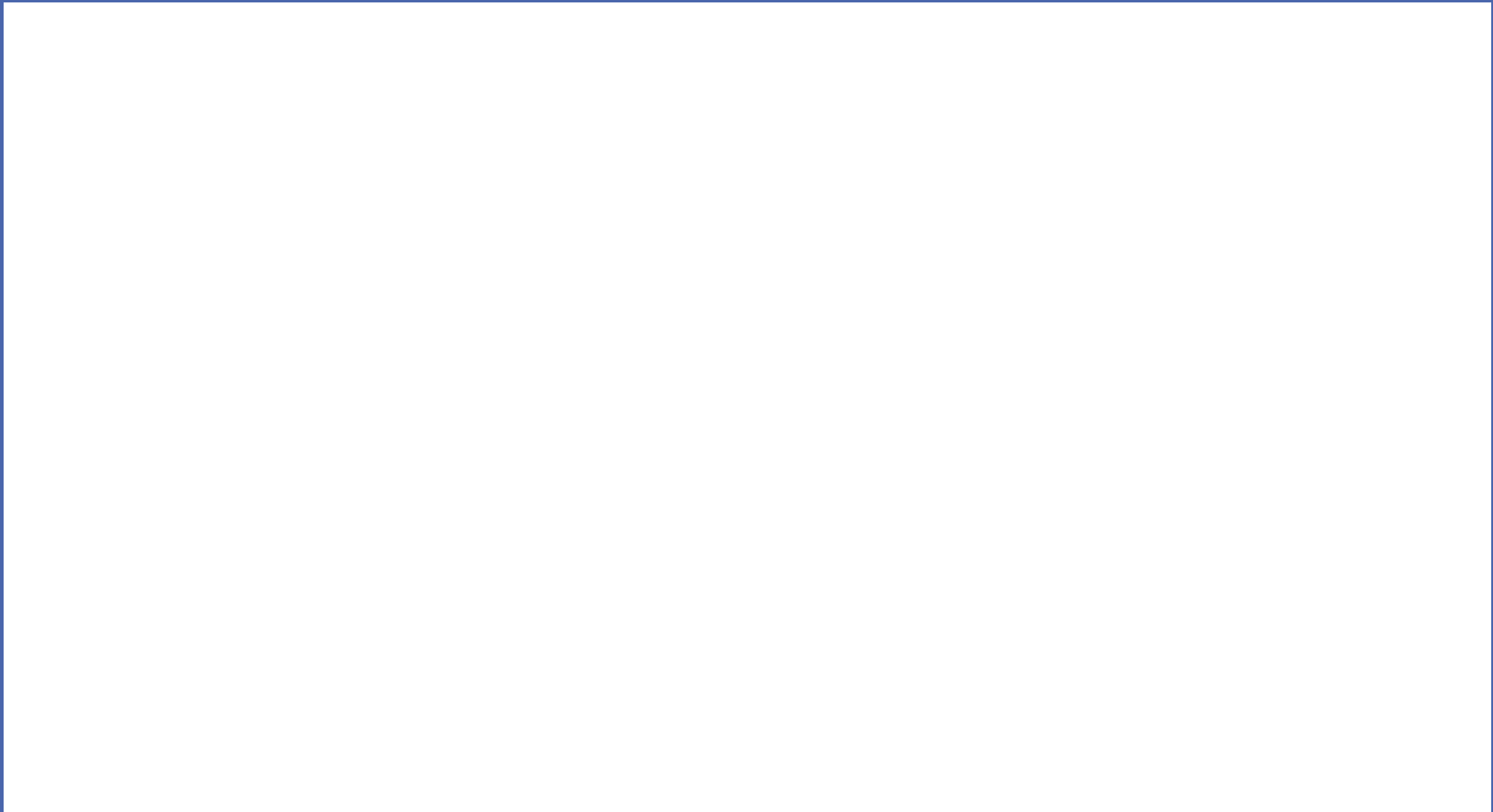


# 総合的な学習の時間



6年 ものづくりのまち浜松と国際理解  
〈日本発、世界へ!〉

- ・ 浜松のよさと首都東京
- ・ 自己の生き方



「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、  
協働的な学びの実現～（答申）

令和3年1月26日

中央教育審議会

## 1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

### 社会背景

【急激に変化する時代】

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」
- 社会全体の **デジタル化・オンライン化、DX加速の必要性**

### 子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施**が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、**ICTの活用**が必要不可欠

## 2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

「日本型学校教育」とは？

**子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育**

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障

【新しい動き】



新学習指導要領の着実な実施



学校における働き方改革

GIGAスクール構想

【成果】

国際的にトップクラスの学力

学力の地域差の縮小

規範意識・道徳心の高さ

【今日の学校教育が直面している課題】

子供たちの多様化

生徒の学習意欲の低下

教師の長時間労働

情報化への対応の遅れ

少子化・人口減少の影響

感染症への対応

「正解主義」や「同調圧力」への  
偏りからの脱却

一人一人の子供を主語にする  
学校教育の実現



「日本型学校教育」の良さを受け継ぎ、更に発展させる/  
新しい時代の学校教育の実現

# 「令和の日本型学校教育」における「子供の学び」の姿について

## 「子供の学び」の姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



個別最適な学び  
協働的な学び

一体的に充実



主体的・対話的で  
深い学び

授業外の学習改善

授業改善

「子供の資質・能力の育成」

## 個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

「子供が自己調整しながら学習を進めていく」

### 指導の個別化

- ✓ 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
  - ✓ 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う
- 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める



### 学習の個性化

- ✓ 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
  - ✓ 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う
- 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる



## 協働的な学び

- ✓ 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
  - ✓ 子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する
- 異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出す



## 各学校段階において目指す学びの姿

### 幼児教育

- 小学校との円滑な接続、質の評価を通じたPDCAサイクルの構築等による、質の高い教育が提供されている
- 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、全ての幼児が健やかに育つことができる

### 義務教育

- 基礎的・基本的な知識・技能や学習の基盤となる資質・能力等の確実な育成が行われるとともに、多様な一人一人の興味・関心等に応じた学びが提供されている
- 児童生徒同士の学び合いや探究的な学びなどを通じ、地域の構成員や主権者としての意識が育まれている
- 全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる

### 高等学校教育

- 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や、社会の形成に主体的に参画するための資質・能力が育まれている
- 多様な関係機関との連携・協働による地域・社会の課題解決に向けた学びが行われている
- 探究的な学びやSTEAM教育など教科等横断的な学びが提供されている

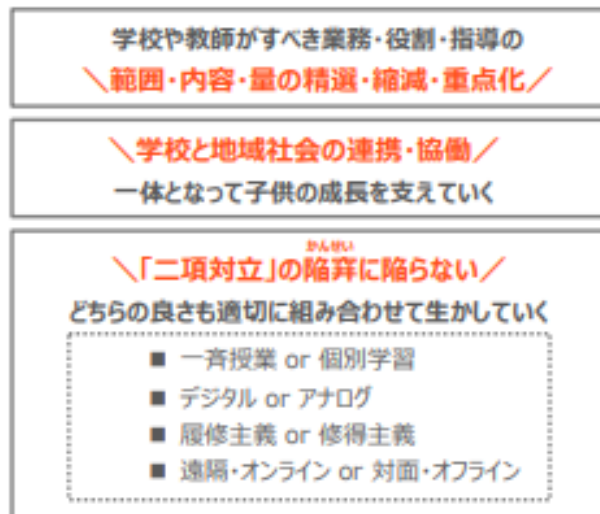
### 特別支援教育

- 全ての教育段階において、インクルーシブ教育システムの理念を構築することを旨として行われ、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境整備
- 障害のある子供とない子供が可能な限りともに教育を受けられる条件整備
- 障害のある子供の自立と社会参加を見据え、連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備

## 義務教育

- 基礎的・基本的な知識・技能や学習の基盤となる資質・能力等の確実な育成が行われるとともに、多様な一人一人の興味・関心等に応じた学びが提供されている
- 児童生徒同士の学び合いや探究的な学びなどを通じ、地域の構成員や主権者としての意識が育まれている
- 全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる

#### 4.「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性



全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて

##### 改革に向けた6つの方向性

- (1) 学校教育の質と多様性、包摂性を高め、**教育の機会均等**を実現する
- (2) 連携・分担による**学校マネジメント**を実現する
- (3) **これまでの実践とICTとの最適な組合せ**を実現する
- (4) **履修主義・修得主義等**を適切に組み合わせる
- (5) 感染症や災害の発生等を乗り越えて**学びを保障する**
- (6) 社会構造の変化の中で、**持続的で魅力ある学校教育**を実現する

#### 5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

##### 【基本的な考え方】

- ✓ 学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの
- ✓ これまでの実践とICTとを最適に組み合わせていく

##### ＼Society5.0時代にふさわしい学校の実現／

- ▶ 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質向上につなげる
- ▶ PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行う
- ▶ ICTを活用すること自体が目的化してしまわないよう留意

##### (1) 学校教育の質の向上に向けたICTの活用

- ICTを**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**に生かすとともに、**今までできなかった学習活動の実施**や**家庭など学校外での学びを充実**する
- 特別な支援が必要な児童生徒への**きめ細かな支援**や、個々の才能を伸ばす**高度な学びの機会の提供**など、児童生徒一人一人に寄り添った指導を行う

#端末の日常的な活用 #ICTは「文房具」

#ICTの活用と少人数学級を両輪としたきめ細かな指導

##### (2) ICTの活用に向けた教師の資質・能力の向上

- 教員養成・研修全体を通じ、**教師に必要な資質・能力を身に付けられる環境を実現**する
- 教員養成大学・学部は**新たな時代に対応した教員養成モデルの構築**や、**不断の授業改善に取り組む教師のネットワークの中核**としての役割を果たす

#ICT活用指導力の養成 #データリテラシーの向上

#指導ノウハウの収集・分析

##### (3) ICT環境整備の在り方

- GIGAスクール構想により配備される端末は、**クラウドにアクセスし、各種サービスを活用**することを前提
- 各学校段階（小・中・高）における**1人1台端末環境の実現**と、**端末の家庭への持ち帰りが望まれる**

#デジタル教科書・教材の普及促進

#教育データの利活用 #ICT人材の確保

#校務効率化

# 複線型の学習スタイル

## 一人一台端末活用の新旧イメージ

### 従来授業＋ 端末活用

- 教師の指示による  
ステップバイステップ
- 単線型
- 協働すらも一斉



一斉でインプット



教師の指示で一斉に端末活用や協働



教師の指示で一斉で発表

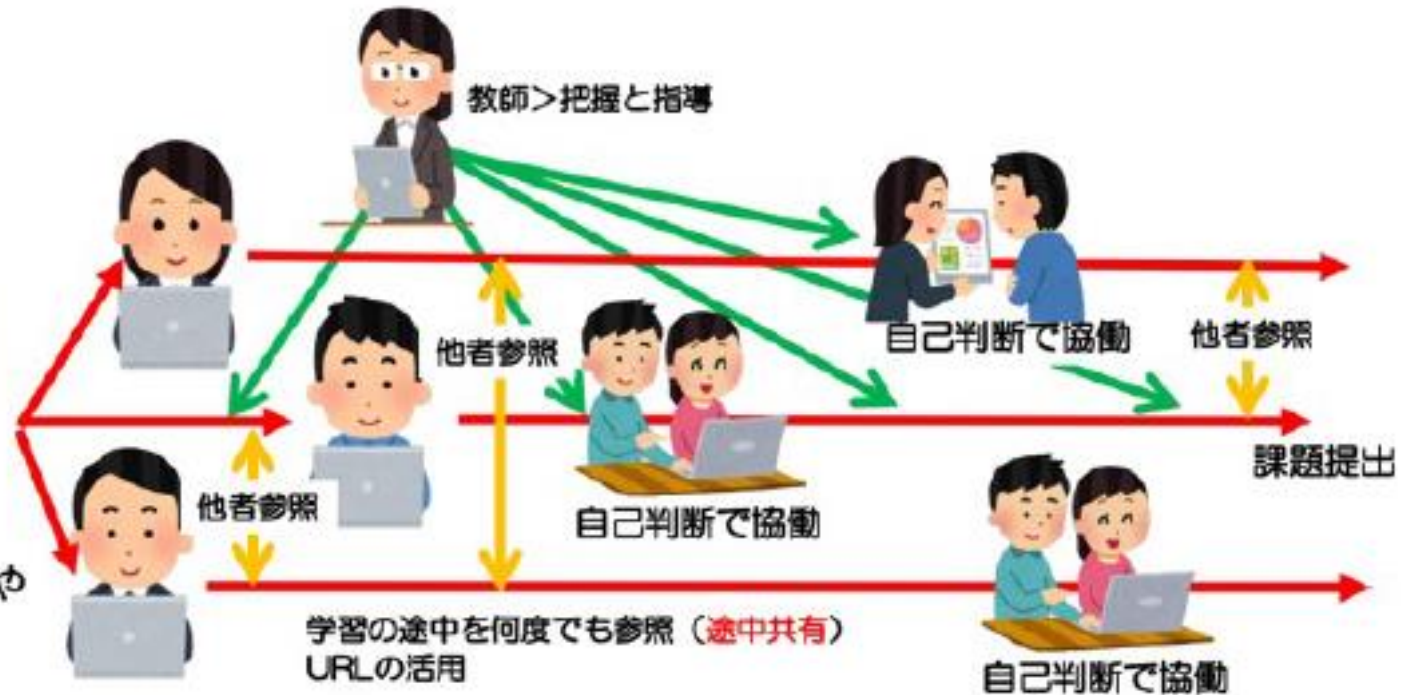


### クラウド活用 授業

- 一人一人が主語  
自己判断で進行
- 複線型
- 必要な時に、  
必要な相手と協働
- 教師は把握と指導



一斉でインプットや  
課題・活動確認





## 来年度（令和6年度）の学校経営構想の方向

●「令和の日本型学校教育」が目指す姿の具現化を図る。

●創立・開校150周年の翌年

「**プラス1**」

- 一歩前へ、
- 知・徳・体 今よりもよく成長を目指す
- 「創造」の精神で、新たなもの（活動）を生み出す
- 「仕事を増やす」のではなく、「質の向上」を



新学習指導要領完全実施

- 資質・能力の3つの柱
  - カリキュラム・マネジメント
  - 社会に開かれた教育課程
- 令和の日本型学校教育の具現

第3次浜松市教育総合計画

(後期4年目)

- 市民協働による人づくり
- 未来創造への人づくり

天竜中学校区の目指す子供像

- 夢や希望、志をもち、その実現を目指して努力する人
- 困難に遭遇してもくじけずねばり強くやり遂げる人
- 人々の幸せや地域の発展のために貢献する人

学校教育目標「自分を高め、ともに進む子」

自主  
協同  
創造  
校訓

目指す子供の姿

学びあう子

認めあう子

きたえあう子

特に培っていききたい資質・能力    ねばり強さ    向上心    自律心    調整力

和田の心得

正しいと思うことをします。  
人のことを考えた行動をします。



和田っ子宣言(仮称)

子供たちが考える目指す自分たちの姿  
(令和5年度1学期に代表委員会にて改訂予定)



さるる

学校経営目標「だれもが主人公、笑顔いっぱい夢いっぱいの学校」

子供も職員も一人一人が、自分のよさを感じ、互いに寄り添い、認め合い、支え合い、励まし合いながら生き生きと活動することを通して自他を高め、夢や希望をふくらめることができる学校



さるこ

キャリア教育の推進(すべての教育活動を通して実践)

《人とかかわる力》(人間関係形成・社会形成能力)

《自分を見つめる力》(自己理解・自己管理能力)

《学びをふかめる力》(課題対応能力)

《未来につなげる力》(キャリアプランニング能力)

知



徳



体

